

日 時 平成26年10月10日(金) 8:50~9:35

場 所 附属小1年2組教室

指導者 筒井 泰登

## 本授業の主張点

入門期における物語の読み取りを、児童が「読みの観点カード」を教師と共に使いながら進めます。本授業では、盛り上がる場面が「にっこり」に至った「主役のがんばり」は何だったのかを検討させることを通して、習得した「読みの観点」を活用しながら、場面の様子や登場人物の気持ちを読み取らせます。

### 1 単元名 おはなしのおもしろさをつたえよう

『おとうとねずみチロ』（東京書籍1年下）

### 2 単元の目標

- ◎ **登場人物**の言動を通して、**場面**の様子や**登場人物の気持ち**を読むことができる。
- 読み取った内容を「どくしょゆうびん」として書くことができる。

### 3 評価規準【学カデザイン レベル1より】

- ◎ 「読みの観点」を基に、内容の大体を読むことができる。【読】
- 物語を読んで感じたおもしろさを、「どくしょゆうびん」に書いて紹介することができる。【書】

### 4 単元とその指導（…「読みの観点」）

#### (1) 児童観

本学級の児童は、物語文『サラダでげんき』の学習で、**登場人物**を捉え、**だれがどんなことをしたか**に着目して物語を読み取る学習をしてきた。**登場人物**になりきって動作化をしたり、会話文を音読したりしながら、楽しんで読み進めることができた。**だれがことば（主語）**、**なにをしたことば（述語）**、**だれがどんな順番ででてきたか**、**音ことば（擬音語、擬態語）**など、文を形成する基本的な語句の他に、物語には**題名**がある、物語は**がっかりからにっこりへと変わる**、**時間や場所が変わると場面が変わる**などの「読みの観点」を習得してきた。また、本単元の前に、「ねずみくんシリーズ」の教材を通して、小さなねずみ君が知恵をしばり物事に対処していく絵本を数冊読んでおり、**がっかりからにっこりへと変わる**には、**主役のがんばり**があるといった物語の型を習得している。

本単元までに、児童が習得した「読みの観点」を以下に示す。

- a：お話には題名がある。
- b：登場人物がいる。
- c：「だれがことば（主語）」がある。
- d：「なにをしたことば（述語）」がある。
- e：お話は「がっかりからにっこり」へと変わる。
- f：いろいろな「くりかえし」がある。
- g：「じかんことば」や「ばしょことば」があり、時間や場所が変わると場面が変わる。
- h：「音ことば」がある。
- i：会話文がカギ（「」）で書いてある。
- j：主役の気持ちが書かれているところがある。
- k：お話には「主役のがんばり」がある。

文を形成する語句やお話の型に着目することができるようになってきたが、**作品のおもしろさ**については**主役**の言動のみに注目して、何となく読んでいるところがある。「なぜそのお話がおもしろいのか」という観点を意識して読むことは十分ではない。

## (2) 教材観

本教材は、兄弟の中で最も幼い「主役」「チロ」が、自分の分の「チョッキ」がないかもしれないという不安に対して、知恵を生かし、「おばあちゃん」から念願の「チョッキ」をもらうという物語である。作品は、「チロ」と兄弟との「会話文」を主とした展開で構成されており、児童が「チロ」を見守りながら読み進めることができる。「チロ」が知恵をしばって、「おばあちゃん」に「声の手紙」を届けるために丘のてっぺんの木の上に登る「場面」は、この「作品のおもしろさ」の一つである。「おばあちゃん」と呼びかけた声が、響きながら飛んでいく様子を、「繰り返し」や文字の大きさと表現されているところは、児童も読んでいて楽しい「場面」である。「声の手紙」が届いたのかどうかは不明だが、「おばあちゃん」からの「チョッキ」が赤と青のしま模様だったこともあり、「チロ」の知恵と「作品のおもしろさ」が詰まっている。したがって、本教材は以下の点から、物語の型を通して「場面」の様子や「登場人物の気持ち」を学習するのに適した教材である。

- 〈1〉この作品は、「チョッキ」のことを通して、「チロ」の心情が「がっかりからにっこり」へと明確に変化するので、これまで児童が学習してきた物語の型に沿っている。また、「にっこり」へと至るために、「チロ」は知恵をしばって「チョッキ」のことをお願いしているように、「主役のがんばり」がよくわかる作品である。
- 〈2〉「チロ」は、自分の「チョッキ」がないかもしれないという思いで、不安になったり一生懸命に知恵をしばって「チョッキ」のことを伝えようとしていたりしている。したがって、児童は「チロ」の気持ちに寄り添いながら読むことができる。また、「チロ」の健気な行動は児童にとって共感できる場所が多く、動作化を用いて楽しく読むことができる。
- 〈3〉「とびはねる」、「はり上げて」、「耳をすまして」など、「チロ」の気持ちが表れた動作の表記が多く書かれている。そのため、「チロ」の気持ちを考えながら読み進めることができる。

以上のことから、本教材は、既習の物語の型に沿っており、音読や動作化を通して、「場面」の様子や「登場人物の気持ち」を読み取らせることが可能である。「人物の気持ち」を考えながら読むことは、「学力」デザインレベル2の「内容の中心を捉えること」につながる。また、「作品のおもしろさ」から、「どくしょゆうびん」として児童が紹介活動を行うことは、「的に応じて内容の中心を捉えたり、幅広く読書しようとしていたりする」とにもつながるので9年間を見据えた指導を行っていくには有効な教材である。

## (3) 指導観

本単元では、「読みの観点」を「1知って2使って3使えるようにし4共に使う」四つのステップに分け、段階的な指導を行う。はじめに、単元を貫く言語活動を「おはなしのおもしろさをどくしょゆうびんでつたえよう」という設定で学習を進めさせる。

第一次では、教師が読み聞かせをした後、家の人にお話のおもしろさを伝える「どくしょゆうびん」を行うことを伝え、目的を持たせ、学習の見通しを持たせる。

第二次では、「どくしょゆうびん」作成に向けて、まず、「チロ」や他の「登場人物」について読み取らせる。特に、「主役」の「チロ」は末っ子でまだ字が書けないという設定を押さえ、人間でいうと1年生よりも幼いネズミであるということを捉えさせたい。また、「チロ」の住んでいる世界は、どのような世界なのか「ばしょことは」に着目させて、「場面」の様子を読み取らせる。兄弟との「会話」で、「チロ」は「がっかり」するが、「チロ」の知恵や努力のおかげで「にっこりへと変わっていく」。したがって本時では、「がっかりとにっこの間にある主役のがんばり」を「読みの観点」として捉えさせ、どんながんばりがあったか「作品のおもしろさ」として児童に読み捉えさせる。また、声が山の向こうの「おばあちゃん」に届く様子などを「作品のおもしろさ」として動作化を用いて表現させる。具体的な手立てとしては、「この物語を「がっかりからにっこり」へと変えた、「チロ」の「がんばり」は何」という発問で「チロ」の言動に着目させて読み取らせる。また「声の手紙」を届ける様子を動作化で表現させ「場面」の様子を捉えさせたいと考えている。また、最後にしましまの「チョッキ」が届く「場面」にも目を向けさせたい。

第三次では、これまで読み取ったことを基に「どくしょゆうびん」を作らせる。紹介する手紙を作成させる際、書いたものを家族に読んでもらい内容を紹介したり、音読をしたりすることで発展させる。また、教師が「チロ」シリーズを紹介することで、さらなる読書生活へと広がりを持たせる。

5 指導計画（全13時間）

※ゴシックは視点に関わる部分

次	時	学習者		指導者	
		意識	学習活動	意 図	指導及び支援【評価の観点】
一	1	「チロ」というねずみのお話を家族にお手紙で伝えるんだな。	教師の読み聞かせを聞くとともに学習の見通しを立てる。	作品の大まかな内容を知らせ、今後の学習活動に見通しを持たせる。	・教師の読み聞かせを通して作品を知ると共に、学習の見通しを持たせるために「どくしよゆうびん」の学習活動を提示する。 【関】
	2 3	『おとうとねずみ「チロ」が「チョッキ」を欲しいと思っているお話だ。	「チロ」のことがわかることばを探す。  ①知って ②使って	児童が使っている「読みの観点」を包含している、 主役（「チロ」）のがんばりを観点とする。	・これまで習得した「読みの観点」を使って発言させるために、 <b>題名</b> を基に「おとうとねずみチロ」のどんなお話か問う。 【読】
	4 5	お話は「チロ」が心配しているがっくりから、チョッキが届いてにっこりに変わっているね。	がっくりの内容とにっこりの内容を捉える。  ②使って ③使えるようにして	各 <b>場面</b> の様子と内容のおもしろさを味わわせる。	・ <b>場所</b> や <b>時間</b> に着目させ、 <b>場面</b> の変化を読み取らせる。 ・ <b>主役</b> の「チロ」が <b>がっくり</b> になったり、 <b>にっこり</b> になったりした原因を <b>主役</b> や <b>対役</b> の言動に着目させて読み取らせる。 【読】
二	6 【本時】	がっくりからにっこりへ変わったのは、 <b>主役（「チロ」）のがんばり</b> があったからだよ。	「チロ」の言動を基に、 <b>主役（「チロ」）のがんばり</b> を話し合う。  ④共に使う	<b>主役（「チロ」）のがんばり</b> で「チロ」の言動に着目させ、様子を読み取らせる。	・「チロ」の心情や様子を話し合わせるために、木の上から「声の手紙」を飛ばすに至った「チロ」の言動に着目させる。 ・ <b>にっこり</b> に至った「チロ」の知恵や言動を <b>主役（「チロ」）のがんばり</b> としてまとめさせる。 【読】
	7	「チロ」のお話のおもしろさを教えるよ。	『おとうとねずみチロ』を「どくしよゆうびん」で紹介する。	「読みの観点」を使って読んだ <b>作品のおもしろさ</b> をまとめさせる。	・これまでの学習を振り返りながら「どくしよゆうびん」に『おとうとねずみチロ』の紹介文として書かせる。 【書】
三	8 9 10	他の本も「どくしよゆうびん」で紹介したいな。	教科書 P66 - 67 を参考に、読みたい物語を探して読む。	教材から読書へと広がりを持たせると共に、「読みの観点」を活用させる。	・選んだ本のお話の流れが <b>がっくりからにっこりへ</b> に着目させながら読ませる。 ・読んだ内容を「どくしよゆうびん」にまとめさせる。 【読】
	11 12 13	・みんなの紹介を聞きたいな。 ・友だちが紹介してくれた本は主役がそんないいことをしたんだなあ。	自分の「どくしよゆうびん」を紹介すると共に、学級みんなの「どくしよゆうびん」も鑑賞する。	自分の「どくしよゆうびん」について発表させるとともに、友だちの「どくしよゆうびん」を鑑賞させる。	・お互いに発表や鑑賞することができるように、ポスターセッションの形式で掲示して交流させる。 【話・聞】

## 6 本時の学習（本時6／13）

### (1) 目標

○ 指導目標

内容の大体を読み取らせるために、「読みの観点」**「主役のがんばり」**を使って、「登場人物」の言動や心情を読み取らせる。

◇ 評価規準

「チロ」の言動を基に**「にっこり」**に至った内容を読み取ることができる。【読むこと】

### (2) 展開

※ゴシックは視点に関わる部分

過程	学習活動	教師の働きかけ（○）と形成的評価（◆）
見 通 す	1 前時の学習を振り返る。	○ <b>挿絵</b> を使い、このお話が <b>「がっくりからにっこり」</b> に変わるお話だったことを想起させる。 ○この場合どんな「読みの観点カード」が使えたかこれまでの学習から振り返らせる。
	2 本時のめあてをつかむ。	
／  深 め る	チロのがんばりを見つけよう	
	3 「チロ」の言動を読み取る。 (1) 「チロ」がいいことを思いつき「声の手紙」を飛ばすまでの <b>「主役（「チロ」）のがんばり」</b> を読み取る。	○ <b>「主役のがんばり」</b> を話し合わせる。 ○「チロ」の知恵を読み取らせるために、「チロ」が高い所にのぼった理由を考えさせる。 ○「チロ」の心情を考えさせるために「チロ」の発声の仕方を文字の表記を基に考えさせる。 ・発声の仕方については、実際に動作化を行う。 ・場面の様子を読み取らせるために、動作化では声の大きさ、口の開け方、間の取り方、手の使い方などに気を付けさせる。
	【予想される発言内容①】 ・丘の上までのぼった。 ・木にのぼった。 →遠くのおばあちゃんに声を届けるためだよ。 ・「おばあちゃん」と呼びかけた。 →しっかり届けたくて大きな声で言ったんだよ。 ・「ぼくにもチョコッキ、あんでね」とお願いした。	◆「読みの観点」を用いて <b>「内容の大体」</b> を読み取ることができるか。（発言、動作化、ワークシート） A：文章の表記を基に「チロ」のがんばりについて理由を付けて詳しく発言したり動作化したりすることができる。 B：文章の表記を基に「チロ」のがんばりについて発言したり動作化したりすることができる。 →なぜそのようにしたのか理由を考えさせる。 C：文章の表記を基に「チロ」のがんばりについて発言したり動作化したりすることが難しい。 — <b>「会話文（はなしことば）」</b> 、 <b>「チロの行動（なにをしたことば）」</b> に着目させる。
	(2) <b>「主役（「チロ」）のがんばり」</b> をまとめる。	
／  広 げ る	【予想される発言内容②】 ・「チロ」はお願いが遠くのおばあちゃんに届くように木の上から声を張り上げた。	
	4 <b>「主役のがんばり」</b> という観点のよさについて確かめる。	○これまで学習してきた物語教材の連続した <b>「挿絵」</b> を見せて、 <b>「がっくりからにっこり」</b> の間には <b>「主役（チロ）のがんばり」</b> があり、それがお話のおもしろさになるということを確認させる。 ・『かいがら』 ・『おおきなかぶ』 ・『サラダでげんぎ』 ・『おとうとねずみチロ』
	【予想される発言内容③】 T：お話の最初（ <b>「がっくり」</b> ）と最後（ <b>「にっこり」</b> ）だけの <b>「挿絵」</b> です。おもしろいかな？ C：最初と最後だけじゃおもしろくない。 C：どんな <b>「がんばり」</b> をしたのか知りたい。 C： <b>「主役のがんばり」</b> があるからおもしろいんだよ。	
	5 次時の学習について知る。	○「どくしょゆうびん」でお話のおもしろさを書くことを伝える。

